



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 株式会社住友倉庫 上場取引所 東  
 コード番号 9303 URL <https://www.sumitomo-soko.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 社長 (氏名) 小野 孝則  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 星野 公彦 TEL 06-6444-1183  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	47,268	0.3	2,386	△9.3	3,646	△6.1	2,318	△6.9
2020年3月期第1四半期	47,135	6.9	2,631	38.2	3,884	24.7	2,490	12.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 6,167百万円 (ー%) 2020年3月期第1四半期 △898百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	27.75	27.67
2020年3月期第1四半期	29.13	29.04

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	316,006	175,646	53.4
2020年3月期	318,458	171,976	51.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 168,843百万円 2020年3月期 165,291百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	18.00	—	29.00	47.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	24.00	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※2020年3月期の期末配当金の内訳 普通配当19円00銭 創業120周年記念配当 10円00銭

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	90,000	△5.5	4,100	△26.1	5,200	△24.1	3,100	△27.9	37.10
通期	178,000	△7.2	8,500	△23.4	10,600	△22.0	6,500	△27.4	77.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、(添付資料) 11ページ「2. (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	84,386,615株	2020年3月期	84,386,615株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	838,576株	2020年3月期	838,377株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	83,548,089株	2020年3月期1Q	85,501,193株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、(添付資料) 4ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	11
(セグメント情報) .....	12
(追加情報) .....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経済環境は、国内では新型コロナウイルス感染症の影響により輸出が減速するとともに、企業の生産活動が落ち込むなど、景気は急速に悪化しました。また、世界経済も同感染症拡大により経済活動が抑制されるなど、極めて厳しい状況となりました。

このような情勢のもと、当社グループにおきましては、2020年4月に愛知県犬山市において文書等情報記録媒体を取り扱う専用施設を稼働させ、また、埼玉県羽生市及び神戸市・ポートアイランドにおいて新倉庫建設を進めるなど、倉庫施設の再構築を図ってまいりました。また、2020年5月に中期経営計画を策定し、同計画の事業戦略に掲げた事業基盤の強靱化に向けた取組みを推進しております。

こうした方針のもと、当第1四半期連結累計期間につきましては、営業収益は、同感染症の影響により、荷動き停滞等の減収要因がありましたが、一方でeコマース関連輸送の取扱拡大等の増収要因もあり、前年同期並みの472億68百万円(前年同期比0.3%増)となりました。営業利益は、期初の想定は下回ったものの同感染症による影響があったことに加え、作業諸費及び人件費の増加、また、前期及び当第1四半期に稼働した倉庫施設等の減価償却費の増加など営業費用が増加したことにより、23億86百万円(同9.3%減)となりました。また、経常利益は36億46百万円(同6.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億18百万円(同6.9%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①物流事業

倉庫業では、新型コロナウイルス感染症の影響による荷動き停滞により倉庫入出庫高は大幅に減少しましたが、一方で倉庫保管残高は堅調に推移し、また、文書等情報記録媒体の取扱増加や前期に稼働した倉庫施設の寄与があったことから、倉庫収入は65億27百万円(前年同期比0.1%増)となりました。港湾運送業では、コンテナ荷捌において中国・韓国航路の取扱増加や新規船社の取扱いがありましたが、同感染症の影響により一般荷捌の取扱いが減少したことから、港湾運送収入は89億62百万円(同4.4%減)となりました。国際輸送業では、航空貨物取扱において、同感染症の影響による国際線の運航減便等に伴う航空運賃上昇の増収要因がありましたが、国際一貫輸送の取扱いが前年同期並みにとどまったことに加え、円高の影響もあり、国際輸送収入は101億68百万円(同1.2%減)となりました。陸上運送業及びその他の業務では、eコマース関連輸送の取扱拡大により陸上運送収入が増収となったことから、陸上運送ほか収入は129億76百万円(同5.1%増)となりました。

以上の結果、物流事業全体の営業収益は前年同期並みの386億34百万円(前年同期比0.3%増)となりましたが、同感染症による影響に加え、主に陸上運送収入増収に伴う作業諸費及び人件費の増加、また、倉庫施設の減価償却費の増加等により営業費用が増加したため、営業利益は24億59百万円(同7.2%減)となりました。

②海運事業

海運事業では、新型コロナウイルス感染症の影響によるコンテナ輸送数量の減少、また、円高の影響がありましたが、コンテナの運賃水準の改善等があり、営業収益は前年同期並みの63億47百万円(前年同期比0.3%増)となりました。一方、コンテナ輸送数量の減少に伴い回送費などのコンテナ関連費用は減少しましたが、船舶燃料油から発生する硫黄酸化物の規制強化に伴う高単価燃料の使用により燃料費が増加するなど営業費用が増加したため、1億75百万円の営業損失(前年同期は営業損失1億44百万円)となりました。

③不動産事業

不動産事業では、前期に取得した賃貸用不動産物件が寄与したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、賃貸用不動産物件の稼働率が低下したことなどから、営業収益は26億66百万円(前年同期比1.1%減)となりました。一方、営業費用も不動産取得税の発生が無かったことなどから減少し、営業利益は前年同期並みの13億70百万円(同0.0%減)となりました。

(注) 1. 上記の各セグメントの営業収益には、セグメント間の内部営業収益3億80百万円(前年同期4億19百万円)を含んでおります。

2. 上記の各セグメントの営業利益は、各セグメントに帰属しない全社費用等12億67百万円(前年同期12億42百万円)控除前の利益であります。

セグメント別の営業収益内訳

内訳	前第1四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	前年同期比増減	
			増減額	比率%
物流事業	38,532百万円	38,634百万円	102百万円	0.3
(倉庫収入)	(6,521)	(6,527)	(6)	(0.1)
(港湾運送収入)	(9,373)	(8,962)	(△410)	(△4.4)
(国際輸送収入)	(10,296)	(10,168)	(△128)	(△1.2)
(陸上運送ほか収入)	(12,341)	(12,976)	(634)	(5.1)
海運事業	6,327	6,347	20	0.3
(海運事業収入)	(6,327)	(6,347)	(20)	(0.3)
不動産事業	2,695	2,666	△28	△1.1
(不動産事業収入)	(2,695)	(2,666)	(△28)	(△1.1)
計	47,554	47,649	94	0.2
セグメント間内部営業収益	△419	△380	38	—
純営業収益	47,135	47,268	132	0.3

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は、新倉庫の建設等による有形固定資産の増加及び株式相場の上昇に伴う「投資有価証券」の増加はあったものの、借入金の返済等により「現金及び預金」が減少したことから、前期末並みの3,160億6百万円(前期末比0.8%減)となりました。負債合計は、借入金の減少等により、前期末比4.2%減の1,403億59百万円となりました。純資産合計は、株式相場の上昇に伴う「その他有価証券評価差額金」の増加等により、前期末比2.1%増の1,756億46百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益及び減価償却による資金の留保等により47億70百万円の増加(前年同期は21億46百万円の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、54億39百万円の減少(前年同期は83億75百万円の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済による支出等により96億37百万円の減少(前年同期は36億93百万円の増加)となりました。

当第1四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フローは、以上の結果に「現金及び現金同等物に係る換算差額」(△3億38百万円)を加えた全体で106億45百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、239億3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、新型コロナウイルス感染症による影響が期初の想定を下回ったことなどから、計画を上回って推移しました。このため、2020年5月12日に公表しました第2四半期連結累計期間の連結業績予想を以下のとおり修正することにいたしました。

なお、期初の公表予想時には、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動への影響が、国内においては第2四半期末まで、また、海外においては海運事業を含め、世界の貿易量縮小を通じて通期(在外連結子会社の決算日は12月末日)にわたることを前提といたしましたが、国内においても同感染症の影響が通期にわたることが想定されること、加えて、最近の米中対立の再激化による世界経済への今後の影響も懸念されることから、通期連結業績予想につきましては従来の予想を据え置いております。

2021年3月期第2四半期連結業績予想(2020年4月1日～2020年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	85,000	3,700	4,800	2,900	34.71
今回修正予想(B)	90,000	4,100	5,200	3,100	37.10
増減額(B-A)	5,000	400	400	200	—
増減率	5.9%	10.8%	8.3%	6.9%	—
(参考)前年同期実績 (2020年3月期第2四半期)	95,231	5,551	6,853	4,302	50.45

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,367	26,078
受取手形及び営業未収入金	21,851	21,363
販売用不動産	27	62
仕掛品	10	16
その他	5,774	5,895
貸倒引当金	△121	△99
流動資産合計	63,911	53,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	77,487	78,213
機械装置及び運搬具(純額)	4,875	4,967
船舶(純額)	4,261	4,178
工具、器具及び備品(純額)	1,000	1,087
土地	64,048	63,994
建設仮勘定	8,239	9,219
その他(純額)	3,107	2,963
有形固定資産合計	163,020	164,624
無形固定資産		
のれん	44	40
借地権	5,125	5,125
ソフトウェア	1,284	1,228
その他	233	230
無形固定資産合計	6,687	6,624
投資その他の資産		
投資有価証券	77,232	83,879
長期貸付金	330	329
繰延税金資産	535	548
その他	6,993	6,939
貸倒引当金	△253	△256
投資その他の資産合計	84,839	91,441
固定資産合計	254,547	262,690
資産合計	318,458	316,006

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	12,670	12,604
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
短期借入金	19,747	12,822
未払法人税等	1,243	892
賞与引当金	1,823	1,326
その他	7,133	7,066
流動負債合計	47,619	39,711
固定負債		
社債	43,000	43,000
長期借入金	25,070	24,892
繰延税金負債	16,271	18,493
役員退職慰労引当金	54	43
退職給付に係る負債	4,800	4,801
長期預り金	8,076	7,998
その他	1,588	1,418
固定負債合計	98,862	100,647
負債合計	146,482	140,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,922	14,922
資本剰余金	12,115	12,115
利益剰余金	106,514	106,409
自己株式	△1,191	△1,191
株主資本合計	132,361	132,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,030	35,647
為替換算調整勘定	2,196	1,241
退職給付に係る調整累計額	△298	△301
その他の包括利益累計額合計	32,929	36,586
新株予約権	294	294
非支配株主持分	6,391	6,509
純資産合計	171,976	175,646
負債純資産合計	318,458	316,006



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業収益		
倉庫収入	6,521	6,527
港湾運送収入	9,270	8,891
国際輸送収入	10,296	10,168
陸上運送収入	9,327	9,987
海運収入	6,162	6,196
物流施設賃貸収入	1,374	1,437
不動産賃貸収入	2,529	2,512
その他	1,654	1,546
営業収益合計	47,135	47,268
営業原価		
作業諸費	29,156	29,438
人件費	5,631	5,761
賃借料	2,663	2,628
租税公課	647	590
減価償却費	1,827	2,041
その他	2,085	1,965
営業原価合計	42,012	42,425
営業総利益	5,122	4,842
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	1,273	1,268
賞与引当金繰入額	194	200
退職給付費用	51	63
のれん償却額	4	4
その他	966	918
販売費及び一般管理費合計	2,490	2,455
営業利益	2,631	2,386
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,253	1,178
持分法による投資利益	78	29
その他	93	202
営業外収益合計	1,426	1,410
営業外費用		
支払利息	104	108
為替差損	45	—
その他	23	41
営業外費用合計	173	150
経常利益	3,884	3,646

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
特別損失		
固定資産除却損	24	12
特別損失合計	24	12
税金等調整前四半期純利益	3,859	3,634
法人税、住民税及び事業税	891	924
法人税等調整額	298	173
法人税等合計	1,189	1,097
四半期純利益	2,670	2,536
非支配株主に帰属する四半期純利益	179	218
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,490	2,318

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	2,670	2,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,831	4,637
為替換算調整勘定	250	△942
退職給付に係る調整額	△32	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	45	△60
その他の包括利益合計	△3,568	3,630
四半期包括利益	△898	6,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,080	5,975
非支配株主に係る四半期包括利益	182	192

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,859	3,634
減価償却費	1,937	2,147
のれん償却額	4	4
引当金の増減額(△は減少)	△480	△527
受取利息及び受取配当金	△1,253	△1,178
支払利息	104	108
持分法による投資損益(△は益)	△78	△29
固定資産除却損	24	12
売上債権の増減額(△は増加)	316	363
仕入債務の増減額(△は減少)	△72	△0
その他	460	395
小計	4,823	4,930
利息及び配当金の受取額	1,273	1,150
利息の支払額	△100	△101
法人税等の支払額	△3,849	△1,208
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,146	4,770
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,305	△515
定期預金の払戻による収入	826	117
有形固定資産の取得による支出	△7,541	△4,887
有形固定資産の売却による収入	5	3
無形固定資産の取得による支出	△177	△83
投資有価証券の取得による支出	△6	△7
貸付金の回収による収入	10	5
その他	△186	△73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,375	△5,439
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,992	952
短期借入金の返済による支出	△648	△897
長期借入れによる収入	11,000	—
長期借入金の返済による支出	△7,181	△7,146
配当金の支払額	△2,247	△2,231
その他	△220	△314
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,693	△9,637
現金及び現金同等物に係る換算差額	65	△338
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,469	△10,645
現金及び現金同等物の期首残高	24,161	34,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 21,691	※ 23,903

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
現金及び預金勘定	26,189百万円	26,078百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△4,498百万円	△2,174百万円
現金及び現金同等物	21,691百万円	23,903百万円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社においては、税金費用の計算にあたり、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)  
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	海運事業	不動産事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	38,404	6,162	2,568	47,135	—	47,135
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	127	164	126	419	△419	—
計	38,532	6,327	2,695	47,554	△419	47,135
セグメント利益又は損失(△)	2,649	△144	1,370	3,874	△1,242	2,631

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,242百万円のうち、各報告セグメントに配分していない全社費用は△1,266百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社及び一部の連結子会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)  
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	海運事業	不動産事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	38,533	6,196	2,538	47,268	—	47,268
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	101	151	127	380	△380	—
計	38,634	6,347	2,666	47,649	△380	47,268
セグメント利益又は損失(△)	2,459	△175	1,370	3,654	△1,267	2,386

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,267百万円のうち、各報告セグメントに配分していない全社費用は△1,237百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社及び一部の連結子会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

期初におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動への影響が、国内においては第2四半期末まで、また、海外においては通期にわたることを前提といたしましたが、現時点においても同感染症の収束時期が不透明な状況であることから、国内においても影響が通期にわたることを前提といたしました。ただし、固定資産の減損会計等、会計上の見積りに重要な変更はありません。